

## AI倫理ポリシー

日本財務翻訳株式会社は、経営理念「バイリンガル・ディスクロージャーの追及～すべての上場企業が当たり前のように英文開示をおこなえる世の中に」の実現のため、AI技術を活用したビジネス・レポートингプロセスの改善を進めてまいります。

一方で、お客様の開示前の情報など、機密性の高い情報を取扱うこと、また極めて高い正確性が求められる開示分野特有の業務特性を踏まえ、セキュリティ・ファーストを第一に利便性だけでなく安心・安全を考慮して、AI技術を利活用いたします。

AI技術の利活用は、ISMS (ISO27001) のマネジメントシステムに組み込み、リスクアセスメントや運用プロセスの評価を実施・維持し、継続的改善を進めてまいります。

### 1. 人間尊重

日本財務翻訳株式会社は、AI技術を人の働きをむだにしない改善の道具とし、人権を尊重し、人々の生活を豊かにするために利活用いたします。AI技術は、人を補完するもので、人を中心とする考え方を原則とし、人権・人格の尊厳を守ります。

### 2. 社会・経済の永続的発展への貢献

日本財務翻訳株式会社は、AI技術がお客様や社会・環境に与える影響を事前に考慮し、サプライヤー含め、お客様の業務効率化に寄与するとともに証券市場やステークホルダー等への貢献ができるよう利活用いたします。

### 3. 安全性・セキュリティ・品質の担保

日本財務翻訳株式会社は、AI技術を情報の漏洩、滅失、棄損から保護し、安全第一に検証、設計・開発、運用を行います。マネジメントシステムを適用し、検証、設計・開発、運用のプロセスを定期的に評価します。

### 4. データとプライバシーの保護

日本財務翻訳株式会社は、法令及びマネジメントシステムを含め社内規程に則り、取得、加工、移送、保管、提供、廃棄の運用ライフサイクルに対し、安全管理措置を適用し、データとプライバシー保護に取り組みます。

### 5. AI人財の育成

日本財務翻訳株式会社は、AIが社会に及ぼす影響やリスク及び限界を適切に理解し、より良い未来社会の実現を担えるAI技術の検証、設計・開発、運用を実現できるとともに正しく利用できる知識と倫理観を持ったプロフェッショナル人財の育成に積極的に取り組みます。

### 6. 公平なAIの提供

日本財務翻訳株式会社は、AIの判断結果に偏りが生じる可能性を認識し、親会社である株式会社プロネクサスの定めている「プロネクサスグループ人権方針」に従い、人権を尊重するとともに、AIの利活用において個人が不当に差別されないように努めます。

### 7. 透明性と説明責任

日本財務翻訳株式会社は、AIの判断結果や生成された情報について、根拠の透明性や法令への適合性が求められることを認識し、AIの利活用による効果や影響について適切な説明を行い、理解が得られるよう努めます。

### 8. 本ポリシーの見直し

本ポリシーは、AIの技術発展や社会環境の変化、お客様からの要求、事例の蓄積、ステークホルダーとの対話を踏まえ必要に応じて改定します。

2026年1月

日本財務翻訳株式会社 代表取締役社長 松本智子